

令和6年度 稲穂中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：37506

実態	「学ぶ力」	
	これまでの成果	課題
	◇ 共通指標アンケートの本校の結果から、「振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じることがある」と感じている生徒の割合が、昨年度よりも大きく増えた。 ◇ 「指導と評価の一体化を目指した授業づくり」を研究主題に、日常の授業や行事において、自己評価や相互評価により自己の成長を実感できる場面をより多く設定したことなどが成果の要因として考えられる。	◇ 共通指標アンケートの本校の結果から、「自分が思っていることや感じていることを人に伝えている」「自分の意見を進んで発言しようとしている」生徒の割合が、札幌市全体と比較しても大きく下回っており、人と学び合う方法の習得に課題が見られる。 ◇ 「自分で計画を立てて勉強している」生徒の割合も札幌市全体と比較しても大きく下回っており、生活を自らコントロールする力に課題が見られる。
	「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題	
	◇ 共通指標アンケートの相互承認に関連する「人の役に立ててうれしいと感じることがある」「人の役に立つ人間になりたいと思う」生徒の割合が高い反面、「自分が必要とされていると感じる」生徒の割合は低い。このことから、自己承認の感度の高さはうかがえるが、他者への承認や他者からの承認の感度に課題があると考えられる。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

他者への承認や他者からの承認を重点とした相互承認の感度の向上

取組	AAR サイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自主的な活動の充実
	◇ 校内研究の推進 研究主題「ICT 活用指導力の更なる向上と実践」 副主題「学ぶ力」の育成に向けた指導の充実 →Google スライドやジャムボードなどを活用し、他者との対話によって思考を再構築する「協働探究」の充実 →課題を自分ごとと捉えるための単元の導入における「イントロダクション」の工夫改善 →自らの成長や学びの進捗を自覚するための「リフレクション」の工夫改善	◇ 稲穂中学校の3つの伝統「明るい挨拶」「美しい歌声」「きれいな校舎」を発展させる生徒会活動の充実 →生徒の一人一人の声を引き出すための一人一台端末や廊下掲示板の利用 →昼の校内放送を利用した各活動の活性化 ◇ 学年協議会を機能させた学年・学級係活動の充実 →生徒の企画運営による集会の実施 →一人一役による学級活動の充実

〈本プログラムの実行に向けて〉

